

エダマメ 枝豆

マメ科

参考文献

柏木文吾(編集)(2017),農耕特集エダマメの最新動向 11月号 誠文堂新光社

(2014),野菜春特集 株式会社サカタのタネ 野菜統括部

近藤卓志(2003),野菜のソムリエ 日本ベジタブル&フルーツマイスター協会 他

○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
岩手												
秋田												
山形												
群馬												
埼玉												
東京												
新潟												
静岡												

枝豆

枝豆は、大豆の若さやを未熟なうちに収穫したもの。

穀物用大豆は東アジア原産で、中国では紀元前2000年から栽培されている。枝豆の利用としては17世紀末から。

次第に大豆用と枝豆用で品種が分かれた。田んぼのあぜ道に植えられていたことから「あぜまめ」という別名もある。

白毛系

白いうぶ毛が特徴で
見た目が鮮やかな緑色。
最も流通量が多い。



茶豆系

香りがよく、甘味が強い。
品種によっては薄皮や産毛が
茶色がかっている。

○枝豆の選び方と保存方法

選び方	さやがよく張って、みずみずしいツヤがあるもの	
保存	生	ポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室で保存
	冷凍	かために茹で、水気を切り フリーザーバッグに入れて保存

○産地情報

国産は夏期を中心に山形、群馬、静岡などから入荷している。

岩手：東北産地で最も早く出荷が始まる

秋田：長期にわたって入荷がある

東北で最も出荷が多いため、主軸となる産地

山形：晩生品種「秘伝」は9～10月上旬まで入荷

群馬：5月から平坦地域で出荷が始まり、順次中山間地へと産地が移り変わる

埼玉：食味にこだわった品種設定を生産者と協議し

JAいるま野では「いるまめ」として販売

東京：6月より東久留米のハウス物の入荷が始まる

7月に入ると小平を中心に枝付きの入荷が始まり

7月中旬～下旬にかけてピークを迎える

新潟：夏の日照時間が長いため、養分がしっかりと蓄積されたうま味のある枝豆を栽培

静岡：通年出荷。JAしみずのブランド品種「フジエス」は8～9月を除き入荷がある。

発行：東京多摩青果株式会社 営業開発部開発課

※2019年現在の多摩青果における各産地の情報とおおよその入荷時期です。気象条件等で実際の入荷状況は異なる場合があります。